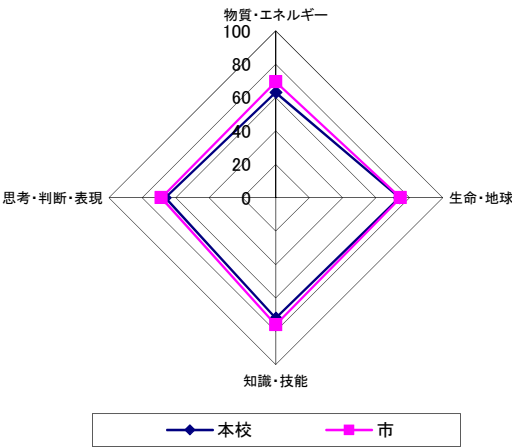


宇都宮市立東小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	63.0	69.3	65.7
	生命・地球	74.0	74.7	77.8
観点別	知識・技能	72.1	76.2	76.4
	思考・判断・表現	66.2	68.7	68.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	平均正答率は、市の平均より6.3ポイント下回った。 ○振り子の決まりや電流の働き、物のとけ方などにおいて設問によっては思考・判断・表現が、市や全国の平均を上回っていることから、少しずつ思考・判断・表現の力が上向きになってきつつあることが考えられる。 ●知識・技能の点において、単元ごとの基礎的な言葉やその意味の理解が課題であると考えられる。	・基礎基本の確実な定着を図るために、単元ごとの重要事項や言葉の理解を確認しながら学習を進めていく。また、思考・判断・表現の部分を生かして理科的な考え方の面白さを、さらに積み重ねて興味深く授業に取り組みやすい環境を整えていく。
生命・地球	平均正答率は、市の平均より0.7ポイント下回った。 ○天気の変化や動物の作りと働きなどにおいては市の平均を10ポイント以上も上回っている部分があり、興味と意欲をもって学習に取り組んでいたことが考えられる。 ●物の燃え方では、考察を改善し記述すること、植物の作りと働きでは、対照実験を行う理由の推測において、市の平均より10ポイント以上下回ったことから、考察力の向上に課題があると考えられる。	・各単元の中で考える場面の設定を意図的に設定していく。その際にどの児童を生かすためにこの設問を設定するか明確にしておくことと考察力の定着を確認しながら授業を進めやすくなるのではないかと考える。また、他教科とも連携をしていくことにより、より効果的な向上が望めるのではないかと考える。